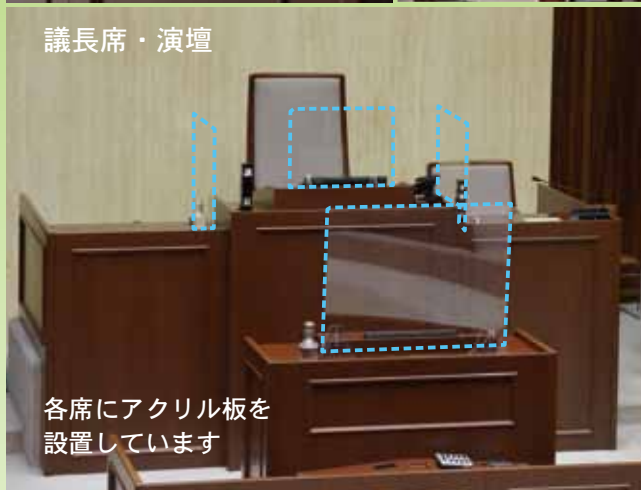


発言者席



採決の様子



議長席・演壇

各席にアクリル板を設置しています

令和3年
第3回臨時会
第3回定例会

密を避けた議場の様子

密を避けるため、議員室等での出席も認めています

○第3回臨時会 会期…7月19日(月) 1日間
○第3回定例会 会期…8月27日(金)～9月27日(月) 32日間

	審議件数	可決・採択※	否決・不採択	取下げ
市長提出議案	27 (3)	27 (3)		
条例	9 (2)	9 (2)		
予算	7 (1)	7 (1)		
決算	6	6		
その他	5	5		
議員提出議案	2	1	1	
陳情	4	1	2	1

※「可決・採択」には、認定、同意を含んでいます。
※件数は、臨時会と定例会の合計で、括弧内は臨時会の件数です。

「第3回定例会本会議の感染症対策」

本会議への出席者は、密を避け、議員の議員室等での出席も認めました。
また、定例会での議員の発言は、議席では行わず、議席前列両端に設けた発言席で行っています。執行部についても前列両端に設けた答弁者席等を使用しました。

主な議案

新型コロナウイルスワクチン接種等の補正予算を審査・可決しました

予算特別委員会を開催し、一般会計補正予算等を審査しました。

6面へ

令和2年度一般会計・特別会計・事業会計の決算を審査・認定しました

決算特別委員会を開催し、令和2年度予算が適正に執行されたかなどを審査しました。

7面へ

8面	7面	6面	5面	4面	3面	2面
議案の議決結果一覧 陳情の結果 次回定例会のお知らせ 会議録の公開予定 会議の開催状況 編集後記	予算・決算特別委員会の審査から 委員会の審査から	一般質問の要旨 小林 たつや 議員(自民) 遠藤 源太郎 議員(自民) 小峰 和美 議員(無所属①) 議長公務 予算・決算特別委員会の審査から	一般質問の要旨 中川 清志 議員(自民) 冨永 雄二 議員(自民) 坂井 かずひこ 議員(自民) 酒井 づう一郎 議員(自民) 田中 のりあき 議員(自民) 稲垣 裕二 議員(自民)	一般質問の要旨 田代 伸之 議員(公明) 大林 光昭 議員(公明) 藤田 美智子 議員(公明) 佐藤 公男 議員(公明) 小幡 勝己 議員(公明) 山田 忠良 議員(自民)	一般質問の要旨 後藤 ゆう子 議員(ネット) かとう 涼子 議員(ネット) 納田 さおり 議員(無所属③) 田村 ひろゆき 議員(無所属④) 佐藤 大介 議員(立憲) 森 しんいち 議員(立憲)	一般質問の要旨 保合 清子 議員(共産) 藤岡 智明 議員(共産) 大竹 あつ子 議員(共産) 中村 すくる 議員(共産) 森 てるお 議員(無所属②)

紙面の紹介(もくじ)

「声の市議会だより」をお届けしています。
(デジ版・CD版)

お知り合いの方でご希望の方がいらっしゃいましたら
谷戸図書館(☎042-421-4545)へお問い合わせください。

コロナウイルス感染爆発を防ぐために、市独自で、無料のPCR検査の実施を



日本共産党西東京市議団 保谷 清子

PCR検査とワクチン接種を迅速に
問 コロナ感染爆発と医療崩壊が深刻な事態となっている。国の動向を待たず、市独自で、PCR検査の拡充と迅速なコロナワクチン接種を進めるべきだ。見解を伺う。

答 PCR検査・ワクチン接種とも本市の医師会と一層連携し、取組を進めていく。

意見 市としても、PCR検査をいつでも、どこでも、誰でも無料で受けられるような体制をつくるべきだ。

認知症と補聴器補助について

問 認知症予防のためには、加齢性難聴者の実態を把握し、補聴器の補助制度を導入することが急がれている。7月からの認知症検診では聞こえについての調査もするのか。補聴器補助の調査は進んでいるのか。

答 検診には、聞こえの質問項目を

設けている。補聴器補助については、特別区を調査・研究していく。

産前産後ケア・支援について

問 地域の助産師さんの力も借りて、全ての出産を経験する女性への産前産後ケア・支援に取り組むことが必要と考えるが、ご所見を伺う。

答 本市では、産前産後ケア事業を実施し、必要な支援を行っている。

意見 さらに充実を求める。



市長は保健所と情報共有をし、自宅療養者の把握と支援拡充に全力で取り組むべきだ!



日本共産党西東京市議団 大竹 あつ子

問 多数の自宅療養者が出ているが、保健所の業務が逼迫し、感染者の支援が遅れている。市は備蓄品の配付を始めたが、それだけでは不十分だ。保健所と感染者の情報共有をし、買物支援や病態の確認、*酸素ステーションなど、臨時的医療施設などを設置すべきだが見解は。

答 情報共有については、市職員が感染症法に基づく業務を行っていないことが課題。自宅療養者の食料品以外の支援も検討している。

意見 陽性者と接触しなくても電話などで要望を聞き、健康状態などを相談支援することはできる。さらに踏み込んだ支援が必要だ。

その他の質問

◇感染が拡大した場合の小・中学校のオンライン授業の対応

◇夏休み明けで不安を抱える児童・

- 生徒の対応
- ◇タブレットの破損の際の対応とメディアリテラシー教育
- ◇妊婦や受験生、教育・保育関係者等のワクチンの優先接種
- ◇保育施設の新型コロナウイルス感染症のガイドライン
- ◇ひとり親家庭の支援
- ◇深刻な介護人材不足
- ◇都有地の福祉施設活用



自宅療養者に配布している食料セット1日分

一般質問の要旨

第3回定例会で26人の議員が行った一般質問の主な内容についてお知らせします。掲載内容は、各議員が執筆し、その責任のもとに掲載しています。

質問の全文は会議録に掲載します。会議録の公開予定等は8面をご覧ください。

一般質問とは、議員個人が市政全般について市長や教育委員会などに質問することです。

西東京市議会では、答弁時間を含めて1人当たり50分の持ち時間で行っています。



本会議の様子は議会インターネット中継から視聴することができます。QRコードからアクセスしてください。

コロナ禍、市民のいのちを守ることを最優先に保健所の感染症対応、情報共有の抜本強化を



日本共産党西東京市議団 藤岡 智明

問 新型コロナウイルス感染爆発のもとで、いかに感染拡大や在宅重症化を防ぐかという重要課題で、積極的な役割を果たしている保健所行政について見解を伺う。

答 コロナ感染症対応については、多摩小平保健所と、都の陽性者の対応状況・療養施設の受入状況など、情報共有を頻繁に行っている。

意見 今市民の求めている情報は、市内療養者・重症患者のより詳細な情報や受入ベッド状況、大規模検査実施体制確立などだ。これらの情報共有と体制確立を早急に求める。

介護施設補給給付負担増について

問 8月から特養・老健など、高齢者施設の入所者を対象とした食費・居住費を減額する補給給付制度が改定され、利用者負担増が実施されている。今回の改定に対する見解は。

答 改定により、預貯金の要件や年金収入額によって負担増となる方がいる。昨年度の補給給付件数は、1,138件。今後補給給付の見直しや介護報酬改定による影響等を注視していく。

意見 改定を知らない人もいる。個々具体的な事情に基づき、施設追い出しにつながるものがないよう、丁寧な対応を求める。



ワクチンは任意。接種の強制になる同調圧力を防止するためのメッセージを出すべきだ



無所属② 森 てるお

問 政策実現のためには、趣旨の詳しい説明と、メッセージを出し、市民の協力を受けることが必要だ。コロナ対策を市はなぜやるのか、何をやるのか、市長の思いは何か。

答 人の命、健康を守る、まちを健康に、日常を取り戻す。これらを柱にした政策を考えている。ポイント還元事業やプレミアム応援券事業で経営が厳しい事業者を支援する。コロナ収束に市民の協力、大切な人を守る行動をお願いする。

問 ワクチンの早期接種はいいが、打たない選択をした人に対するメッセージはどうか。私は「ワクチン接種をしない」と公言しているから、同調圧力を感じるという人からの質問を受け取る。ワクチンは任意接種だとメッセージを出すべきだ。どんなワクチンなのか、打たなければど

うなる、打った場合どんな影響があるのか、細かく説明する必要がある。

答 ワクチンは感染した場合に発症や重症化を予防する効果がある。接種は強制ではなく、希望しない場合は接種する必要はない。ワクチン接種を受けていない人に接種を強制したり、受けていないことを理由にいいじめや差別的な扱いをしたりすることは許されない。



都市計画道路3・4・9号線の一部開通 住民が要望する横断歩道・信号機の設置を



日本共産党西東京市議団 中村 さとる

問 8月2日に3・4・9号線の東大農場を横断する部分の交通開放がされた。東大農場通りとの交差点への横断歩道設置と、今回の開通に伴い谷戸新道で廃止されてしまった2カ所の横断歩道等の再設置は切実な地域住民の要望である。市の見解は。

答 東京都と警視庁の協議の中で総合的に勘案された結果、現状に至ったと認識している。

意見 特に谷戸新道の横断歩道等の廃止については地域住民の苦情が多い。「事故が起こってからでは遅い」という声は異口同音である。市としても積極的に動くべき。

核兵器禁止条約への認識について

問 本市も加盟している平和首長会議や非核平和宣言自治体協議会では日本国も含め条約への署名・批准を求める決議等が採択されている。池

澤市長も同じ認識か。

答 ヒバクシャ国際署名の提出により、日本国を含む全ての国に条約締結を求める姿勢を示している。

その他質問

◇生活保護の誤解・偏見を解消する取組

◇コロナ禍での事業者への直接支援

◇学生・若者世代への支援

◇SDGsの基本的な考え方



田無駅前「平和のリング」

*酸素ステーション 入院が必要な患者・自宅療養者に対し、応急処置として酸素投与をする緊急施設。

コロナの感染が拡大する中、対策本部会議は何をしてきたのか？



生活者ネットワーク かとう 涼子

問 市内の感染状況が逼迫する中、コロナ対策本部会議が感染防止や市民の不安解消に向け、協議を行ってきた形跡が見当たらない。

答 国や都の情報共有を図り、全庁的な対応を決定してきた。

問 では、プレミアム応援券の2次販売についてはどのような協議を行ったのか。感染が拡大しているのに、なぜ消費喚起を遂行したのか。

答 飲食店の厳しい窮状を聞き、事業者支援が必要と判断した。

意見 市民の命に関わる様々な状況を総合的に判断することこそが、対策本部の役割ではないのか。チケットの販売中止が検討されなかったのは不可解だ。

問 コロナが長期化する中、妊産婦の孤立化が深刻だ。誰もが利用できる産後ケアの充実を求める。

答 実父母の高齢化に加え、コロナのために里帰り出産が難しいなど状況の変化が見られる。新たな産後ケア事業について検討していく。

問 学校に通えない子どもたちが安心して過ごせるサードプレイス、学校でも家でもない居場所が必要だ。

答 スキップ教室やニコルームが支援している。個々の児童生徒に応じたきめ細かな支援が必要である。



GIGAスクールが始まった！教員の研修は？



生活者ネットワーク 後藤 ゆう子

問 G I G Aスクールが始まったが、教員に対するタブレットの研修の状況は。

答 各学校にG I G Aスクール推進教師を指名し、この方々を対象にしたタブレット操作研修を実施している。その他に、各学校の校内研修も行っている。またICT支援員等が授業の補助に入り、子どもの発達段階や学習内容に応じて、専門家などと連携している。

意見 8月下旬の感染者数が多い時期にオンライン授業と、給食の提供を両立させたことは子どもの立場から考えれば良い決断だった。

問 公共施設等の電力の再生可能エネルギーの導入に向けた取組状況は。

答 西東京市電力調達に係る環境配慮方針において、電力供給事業者を選定するための評価項目の一つに、

再生可能エネルギーを導入していることを必須条件にすることを予定している。姉妹都市などで発電している再生可能エネルギーから電力調達することについては、今後調査研究する。

その他質問

◇プラスチックごみの一括回収について



中原小学校オンライン授業の様子

都市計画道路の交通開放による影響はプレミアム応援券事業は過大でなかったか



無所属④ 田村 ひろゆき

都市計画道路3・4・9号線

問 六角地藏尊交差点の横断歩道1カ所、谷戸新道との交差点付近の横断歩道が廃止に。東大農場通りは南北に分断され、地域住民から改善を求める声が上がっている。横断歩道の設置や「横断者に注意」のような注意喚起看板の設置を求める。

答 東京都と警視庁で注意喚起看板の設置等について協議を行う予定と伺っている。

プレミアム応援券事業について

問 お食事券3万5千冊のうち、1次販売で4分の3以上が販売に至らず。生活困窮者はこのプレミアムの恩恵にあずかることができない。事業規模は過大でなかったか。

答 お買物券に集中したことや、長引く新型コロナウイルス感染症の影響から完売に至らなかった。

PCR検査について

問 積極的な疫学調査が縮小されている。感染者が発生した施設で、無症状感染者を発見するための検査キット等を導入できないか。

答 多摩小平保健所管内5市の連絡協議会の中で、保健所から、改めて医療機関等でPCR検査を要する検査のスキームの構築は控えていただきたいと説明があった。



都市計画道路3・4・9号線

コロナパンデミックを乗り越えるためにできることを探し発信する意思が弱すぎる！



無所属③ 納田 さおり

問 市内新型コロナ陽性者数が激増した8月、市民の不安は高まり、情報発信が重要だったが、市長動画メッセージは8月25日まで止まり、個人SNSは全く更新されない。リスクコミュニケーションとして大課題だ。

答 市長メッセージは市民に届ける必要のある内容を発信する。日々の活動等を含め公的媒体のみで発信し、個人SNSでは発信を行わない。

問 *中等症以下の陽性者は原則自宅療養という方針であり、支援のため、市としても保健所から自宅療養者情報を入手する必要があるのではないか。さらに気象災害が激化しており、陽性者専用避難所も求められることから、市内陽性者の詳細情報を入手する意義が大きくなっている。

答 市は感染症法に基づく業務を行っていないことから、保健所と共有

できる情報には制限が生じると考えている。また陽性者専用避難所を設けると、病院に代わる一時的な医療施設ととらえられる可能性がある。

問 緊急事態宣言延長で生活困窮者の困窮度合いが増しているため、コロナ事業の執行残を活用してプレミアム応援券を給付できないか。

答 応援券販売による原資を換金に使うため対応できない。



新型コロナウイルス感染症対策は国や都、保健所任せにするな！



立憲フォーラム 森 しんいち

問 新型コロナに感染した自宅療養者へ、市が保健所に代わって毎日電話コールをすることはできないか。

答 市としては、多摩小平保健所及び東京都自宅療養者フォローアップセンターの対応に時間を要している現状から、東京都の支援につながるまでの間の緊急支援として、市として希望者へ食糧配布を開始した。

問 事業者支援はプレミアム応援券のような間接的支援ではなく、直接的支援をするべきではないか。

答 プレミアム応援券事業は、売上げ向上及び市内経済の回復・活性化に効果があると考えている。

問 厚労省は不織布マスクが他の素材に比べて感染を防ぐ効果が高いとしているが、市も不織布マスクを推奨する周知をするべきではないか。

答 市民への情報発信の中で、不織

布マスクの効果を周知していく。

その他質問

- ◇商工会保谷事務所の無償譲渡
- ◇公契約条例
- ◇いのちの教育「性教育」
- ◇市民文化祭の実施
- ◇子どもの感染リスク
- ◇自動検温器の公共施設入口へ設置
- ◇小中学生の夏休み中のタブレットの活用状況



不織布マスクをするいこいな

多様性を認め合い差別のない社会に！



立憲フォーラム 佐藤 大介

新型コロナウイルス対策について

問 給付型の事業者支援策において、業種間に格差が生じていると思われるが、市の認識は。

答 市内中小企業及び個人事業者全ての業種を対象とし、売上減少割合に応じた給付事業として実施した。

問 学校において、感染者等に対しいじめや差別が起きていると聞く。感染者、濃厚接触者、ワクチン未接種者への偏見・差別に対する対応は。

答 人権教育担当の教員に対し、研修を実施している。子どもたちに対しては、道徳の授業などを通して、発達段階に応じた指導をしていく。

LGBTQについて

問 同性パートナーシップ制度を導入できない理由は。

答 市民の皆様にも正しい理解を深めていただくことが大切であり、多

様性を受け入れる地域社会の土台を固めていくことが重要と考える。

問 20万都市の何人が理解した時に導入するのか。大多数の理解を得られなければ人権は守られないのか。

答 市民意識、実態調査等により把握していく。

意見 今後の取組に対し熱が感じられない。行政が真っ先に味方になってほしい。



* 中等症 新型コロナウイルス感染症の診療では、患者の症状を「軽症」、「中等症Ⅰ」、「中等症Ⅱ」、「重症」の4段階に分類しており、「中等症Ⅰ・Ⅱ」は、「息苦しさや肺炎が認められる状態（血中酸素値 96%以下）～自力での呼吸が難しく酸素投与が必要な状態（血中酸素値 93%以下）」を表す。

* スキーム 枠組みを持った計画、体系的な計画。

コロナ禍の課題に迅速に対応しつつ、地域、社会の課題に着実な取組を！



西東京市議会公明党 大林 光昭

問 感染急拡大を踏まえ、必要な病床・宿泊施設等の確保や自宅療養者の経過観察、生活支援などを都に求めるとともに、保健所等と連携した相談・支援の実施を求める緊急要望を2度提出した。取組は。

答 市長会を通じて、都に陽性疑い者や自宅療養者等の相談・支援体制強化などを要望した。市でも、自宅療養者等への食料等の配布、*パルスオキシメーターの貸出を行う。

意見 コロナ禍でひきこもり・ニート対策事業が休止となっている。公共施設の活用などで課題解消すべき。

問 頻発する災害に備え、昨年は中止した総合防災訓練を、感染症対策などに工夫しながら実施すべき。

答 感染拡大防止に配慮し、災害に備える実質的訓練として、職員の参集や避難所開設の訓練を実施する。

問 ゼロカーボンシティ宣言へ、全庁的な検討を行い、子どもも含めてより広く意見を聴取すべき。エコプラザ西東京は、利用料値上げの前にまず利用者の拡大を図るべき。

答 庁内横断的な組織を立ち上げ、取組や目標数値を検討し、子どもの意見も聴きながら、ガイドラインをまとめる。エコプラザ利用料の改定は見送る。



食料配布支援

誰もが恩恵を受ける ひとりに寄り添う行政のデジタル化の推進を



西東京市議会公明党 田代 伸之

問 妊娠中の方、その配偶者、パートナー等の新型コロナワクチン優先接種体制を構築すべき。検討状況は。

答 早期の実施を目指し、集団接種会場での体制整備を基軸に検討。

問 SNSを活用したプッシュ型の行政情報発信を求めている。現状は。

答 令和3年12月からLINEを活用し、行政情報の発信を行う。

問 行政のデジタル化とともに、*デジタルデバйд対策が重要。見解は。

答 東京都高齢者スマートフォン利用普及啓発事業の実施を検討。

問 認知症ひとり歩き対策支援として認知症高齢者等個人賠償責任保険事業の導入を。検討状況は。

答 既存の見守り体制やサービスの整理、効果検証の中で検討する。

問 未来を担う若者の視点、発想をまちづくりに反映する取組を。

答 次期総合計画策定では、若者の声を生かした計画づくりを進める。

問 千葉県八街市で児童の貴い命が失われる痛ましい事故が発生したことを受け、市議会公明党は「登下校時の交通安全対策を求める要望書」を提出。教育委員会の対応は。

答 早期に全通学路の点検を行い、対策を順次実施している。11月をめぐりに市HPで報告予定。



パソコンとスマートフォン

市長・副市長の役割分担を明確にし、時には副市長は嫌われ役になって市長に意見せよ！



西東京市議会公明党 佐藤 公男

問 市長と副市長の役割分担が重要と考えるが、見解を伺う。

答 市長は市政の責任者。副市長は、より現場に近い形で、組織力・行政サービスの向上につなげていく。

意見 市長にも職員にも厳しい意見を言い、嫌われ役になるのが副市長の役割。その覚悟が伝わった。

市職員のコロナ対策の徹底を！

問 職員のワクチン接種状況と、都の職域接種での西東京市の割当は。

答 8月27日現在、職員の感染者数は39人。ワクチン接種済みは40%を超えた。都の職域接種割当は1日8人。計120人。

避難指示を躊躇なく発する訓練を！

問 警戒レベル4は避難指示に一本化された。さきの熱海市の土砂災害の教訓を生かすため、市議会公明党は緊急要望書を提出した。躊躇なく

避難指示発令の訓練を行うべき。

答 風水害訓練でシミュレーションを行い、遅滞なく対応したい。

下水道料金値上げせずに大幅改善！

問 この10年間で下水道事業の収支が大幅に改善された。要因は。

答 企業債の償還が進んだこと、工事による臨時的な増収があった。

意見 今回改訂された下水道プランでは、今後30年間は値上げせずにやれるとも読み取れる。期待する。



女性支援目的の国の交付金を、ひとり親家庭・非正規雇用労働者のために活用しよう！！



西東京市議会公明党 藤田 美智子

問 「地域女性活躍推進交付金」はコロナ禍により、望まない孤立・孤独で不安を抱える女性、解雇等に直面する女性、困難を抱える女性への支援や、ポストコロナを見据えたデジタル人材の育成、*テレワークに関するセミナー等の財源に充てることのできる。国が準備する多様な支援を市は活用しないのか。

答 感染拡大の影響が長期間に及び、女性に対する支援が複雑多様化したことにより、庁内関係部署の横断的な対応が必要である。今後、こうした国や都の交付金等の活用や、庁内関係部署との連携について検討する。

問 地域住民が共同所有する土地等の寄附の申し入れを、市が受け入れる仕組みがない。検討状況を伺う。

答 公有財産管理委員会で検討し、活用が見込めれば、必要な調査を行

った上で、共有者の同意があるか、抵当権など他の権利がないか、財産の取得に課題がないか等を確認し、受領の可否を判断したい。

意見 前例や仕組みがないことに対し厳しい状況にある方に何ができるのかを考え、対応していただきたい。

その他の質問

◇非正規雇用労働者・女性・ひとり親家庭への支援について



国民に夢を与えた若者スポーツの振興を！子どもの健康に配慮したICT化を進めよ



自由民主党西東京市議団 山田 忠良

問 9月1日デジタル庁が発足した。国が示す統一的基幹システムの導入に向けて、デジタル化を加速していかねばならない。市の考えは。

答 全庁的にデジタル化を進めるため、幹部研修を行い、デジタル化検討部会を立ち上げた。子育てなど31業務を優先的にデジタル化し、17の基幹業務統一化に取り組んでいく。

問 東京2020オリンピック、特に新競技のスケートボードは男女とも若い日本人が金メダルを獲得し、大きな感動を生んだ。今後の若者スポーツ振興の取組は。

答 本市は、いこいの森公園にスケート広場がある。今後も若者や関係団体の意見を聞きながら、団体支援や活動場所確保などの支援を行っている。

問 子どもの視力低下が全国的に進

んでいる。タブレット端末を使ったオンライン授業など利便性は高まるが、使い過ぎを防止するなど、近視予防の取組が重要だ。市の考えは。

答 学校のICT化が子どもの視力低下を招かないよう、文部科学省が今後示す方針を踏まえ、タブレット端末を使う際の正しい姿勢や画面の角度などを指導していく。



いこいの森公園スケート広場 (撮影：西東京の公園・西武パートナーズ)

全学校の水道蛇口を改修せよ！清掃事業者へ臨時交付金を！



西東京市議会公明党 小幡 勝己

問 コロナ禍でごみ量が増加、清掃業者への支援に創生臨時交付金を。

答 清掃事業者の支援を検討する。

問 学校のトイレ等の蛇口を自動水栓化か肘で動かせるレバー式にせよ。

答 コロナ禍において重要である。実態調査し、改善に向けて検証する。

問 新生児聴覚検査での早期発見、早期治療が重要である。実績を伺う。

答 令和2年度は受診者数1,012人。再検査の方への支援を丁寧に行う。

問 市民会館・ひばりが丘中学校・保谷庁舎が解体となる。跡地利用は。

答 市民会館は公募後2月上旬選定。ひばりが丘中は調整し、方向性決定。保谷庁舎は、庁舎統合見直しで検討。

問 東大内の新道路が開通したが、大渋滞や信号・横断歩道の対策は。

答 開通に伴う信号機・横断歩道等の設置等は都及び警視庁と調整する。

問 私道舗装の有料化は反対である。

答 受益者負担有料化は求めない。申請方法も検討し市報等で広報する。

問 要配慮者利用施設に対し、避難確保計画の作成が義務化された。

答 避難計画・訓練の実施には重要な計画。対象施設は185施設に及ぶ。

問 子どもたちにオリンピック等の思い出を作ってもらいたい。

答 教育の意義を改めて認識した。



市内小学校の水道蛇口

*デジタルデバйд コンピュータやインターネットなどの情報技術を利用し、使いこなせる人とそうでない人の間に生じる貧富や機会、社会的地位などの格差。
 *パルスオキシメーター 皮膚を通して血液中の酸素飽和度を測定する機器。
 *テレワーク 「tele(離れた所)」と「work(働く)」をあわせた造語で、情報通信技術(ICT)を活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方。

新型コロナウイルスの感染収束に向け科学的で正確な情報提供を求める



自由民主党西東京市議団 富永 雄二

問 メディアがPCR検査陽性者数を感染者数として報道し不安を煽っていることに憂慮している。本市の感染者数のカウントについて問う。

答 PCR検査陽性者数をそのまま感染者数とはしていない。感染者数は医療機関から発生の届出があり、保健所に報告された方の人数である。

問 ワクチン接種をすれば感染しない、他の人にうつすこともないと誤解をされている方も少なからずいる。ワクチン接種の効果についての情報提供はどのようにになっているか。

答 ワクチンには発症予防と重症化予防に対する効果が期待されている。ワクチン接種が進んでいる地域でも最近では感染者が大きく増えていることから、感染予防の効果については慎重に見極める必要がある。ワクチンを接種した後も引き続き感染予防

対策をお願いしたい。
意見 ワクチン接種をしたいが身体の事情で接種できない方や自身の判断で接種を希望されない方もいる。行政はそのような方々の声にも丁寧に寄り添う必要があると考える。

その他の質問

- ◇若年層の感染拡大
- ◇感染拡大と待機児童数の関係
- ◇エコプラザ西東京の使用料



COVID-19流行下における自殺対策について

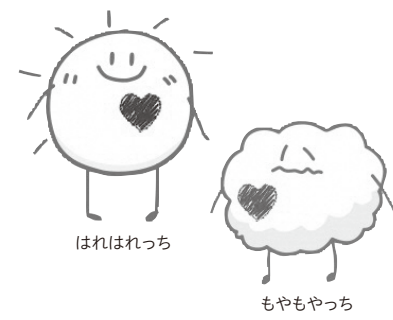


自由民主党西東京市議団 中川 清志

問 全国的に、昨年度、小学校では夏休み明けの自殺者が多くなった。また、COVID-19の影響により、女性及び若者の自殺率が増加している。本市の対策・課題について問う。

答 LINEを活用した相談事業、アカウント名「こころHaLe・HaLe@西東京市」を7月28日から、毎週日・水曜日、18時～22時まで、本市在住の概ね18歳から39歳までの方を対象として実施。8月20日現在、登録者数56件、相談件数8件。産前産後ケアは、令和2年11月に、子育て世代包括支援センターを開設し、妊娠期から「切れ目のない支援」体制強化を図っている。新生児訪問は、コロナ禍において、重要度が高まっている。深刻化する産後うつ等の問題に、より丁寧に対応するためには、利用者ニーズ及び地域資源の

把握、財源の確保等が課題。
2学期当初の教育活動においては、児童生徒に対して命について考える授業を行うことが重要であると認識している。命の教育は、「特別の教科道徳」や保健体育科の中で、発達の段階に即して指導している。産婦人科医、獣医師会、助産師会等専門家のお力添えをいただきながら、命を大切に育む気持ちを育てていく。



コロナ対策に全力で取り組み！市民のいのちと暮らしを守れ！



自由民主党西東京市議団 酒井 ごう一郎

プレミアム応援券事業について

問 弾力的な運用の判断時期は。
答 4カ月の事業期間での利用が不利にならないように運用について判断をしたい。

意見 購入された方、参加店にお知らせする期間を考えると10月中旬には判断すべき。また、食事券の有効期間の延長や、買物券にも転用して使えることも検討すべきと考える。

エッセンシャルワーカー支援について

問 以前にも制度構築について取り上げたが現在の事業進捗は。

答 事業所814、対象従業員1万2,701人に対して引き換え配布を実施した。

意見 本事業は他市では行っていない独自の支援だ。感謝の気持ちをお伝えできたこの事業を評価する。

公園行政について

問 開発事業において緑を残したい地権者の意向の反映は。

答 協議をしながら進めていく。

その他質問

- ◇農業振興
- ◇無電柱化
- ◇交通事業者支援
- ◇集会施設



これまでのワクチンの取組の評価は？地域医療の担い手である医師会との連携は？



自由民主党西東京市議団 坂井 かずひこ

問 これまでのワクチンの取組をどのように評価しているか。

答 8月25日時点でのVRSの速報値で接種対象人口の52.6%の方が1回目接種を終えられ、40.0%の方が2回目接種を終えられており、計画していた8月末までの接種回数はすでに達成し、順調に進行しているものと認識している。

問 西東京市の自宅療養者への食料支援がニュースで取り上げられていたが、自宅療養者の方へのパルスオキシメーターの必要性が高まっていると感じている。会派としてこれまでも地域医療の担い手である医師会との連携を求めてきたが、検討状況は。

答 西東京市医師会に協力を求めているところ、医師会から市にパルスオキシメーター100台を貸与いた

けることになった。9月3日から先行して実施している食料支援のスキームを活用し、希望する世帯の方にパルスオキシメーターを貸与させていただくめどが立った。

問 12歳から15歳の方への接種について、市の状況は。

答 希望される12歳以上の方は、7月16日以降、市内診療所・クリニックでご相談できる体制とした。



パルスオキシメーター

キャッシュレス25%還元事業の再実施を!! 石神井川遊歩道への足元灯、来年度設置へ。



自由民主党西東京市議団 稲垣 裕二

地方創生臨時交付金

問 今回の交付金の使途制限は。

答 事業者支援分の追加交付である。

意見 事業者支援という視点で内容を整理し、今定例会中に補正予算として早急に対応していただきたい。

キャッシュレスポイント還元事業

問 効果はあったが、PR不足ではなかったのか。年度内に再度実施することを検討すべきでは。

答 執行状況を見定めて検討する。

石神井川に足元灯の設置

問 以前にも言ったが、都は西東京市からの申し出があれば、川の両サイドの通路への足元灯の占有許可を出すことは可能である。石神井川遊歩道の照明設置のその後の協議は。

答 照明設置については、間隔や規模を検討し設置に向け都と協議する。

意見 来年度予算に反映し、来年度

中に工事完了することを望む。

災害時仮設トイレについて

問 簡易トイレの確保数は計画に反映されているが仮設トイレの状況は。

答 建築現場で使用する機材を借りられるよう努めている。

意見 災害時は1,400台以上必要になると思われるが、いくつ確保できているのかわからず、大きな問題だ。具体的に検討せよ。改めて確認する。



石神井川遊歩道

西東京市のみどりの将来像について 通学路での交通事故から子ども達を守る



自由民主党西東京市議団 田中 のりあき

問 市内にある屋敷林について、所有者の意向があった場合、特別緑地保全地区に指定する考えがあるのか、市長の考えを問う。

答 本市の特別緑地保全地区指定の考え方は、公有地である特別緑地保全地区は「公園空白地域を埋める施設」として位置付けている。特別緑地保全地区の指定は、財政負担と共に、地域における緑の状況等により、指定の判断を行う。

問 特別緑地保全地区の指定を行う場合、国や都の補助は活用できないのか。

答 東京都からは、特別緑地保全地区の買取りに活用できる可能性のある国及び都の補助金があると聞いている。引き続き、財源確保や民間管理等、新たな手法を調査する。

問 今年6月28日、千葉県八街市の

通学路で下校途中の児童5人が死傷する事故が発生し、文科省では通学路の総点検の通知を行ったが、西東京市の取組状況と今後の対応スケジュールを問う。

答 緊急総点検は、7月5日から3日間行い、対策が必要な箇所の抽出を行った。抽出した箇所を整理した上で、警察や道路管理者と連携し、対策の検討を進める。



* VRS (Vaccination Record System、ワクチン接種記録システム) 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種に当たり、個人の接種状況を記録するシステム。「接種者情報」と「接種記録情報」により、いつ・どこで・どのワクチンを接種したか記録される。

まもなく学校は2学期が始まる 新型コロナウイルス感染症対策を徹底せよ



自由民主党西東京市議団 遠藤 源太郎

問 コロナ禍、活動制限中の地域コミュニティの再構築を図れ。

答 オンラインを活用したコミュニケーションも効果的だ。新しい地域の担い手の発掘や参加に結びつく。

問 温暖化対策、樹木の伐採・剪定枝は、土に返す施策にするべきだ。

答 今後も焼却する量を減らし、循環型社会を推進し温暖化対策をする。

問 私道の整備、受益者負担の方針は再検討し、市民サービスに供せよ。

答 早期補修を基本に道路の公共性の高さから受益者負担は求めない。

問 都市農業の振興、都市の緑を守るためにも農地の保全対策を進めよ。

答 相続や後継者問題を認識。JAや農業委員会と連携し、農業者の動向も注視し農地の活用・保全を図る。

問 自転車と交通安全、ルールやマナーに問題がある。効果的な対策は、

答 市民の自転車安全利用に関しては、どのような効果的な取組ができるか田無警察署と連携して検討する。

問 まもなく2学期、新型コロナウイルス感染症対策を徹底せよ。

答 夏休み明けをゆるやかに開始するスタートアップ期間を設け、オンライン授業を実施する。昼食は給食を用意し登校する。学びを止めることなく、子ども達と学校をつなげる。



中原小学校オンライン授業の様子

新型コロナウイルス感染防止対策について 公園行政・3・4・9号線について



自由民主党西東京市議団 小林 たつや

問 東京オリ・パラリンピックは批判等様々な反応はあったが無事終了した。過去最多となる日本人選手のメダル獲得を含め、関係者の皆様に敬意を表す。そのような中、市長は徹底したウイルス対策に取り組んでいると思うが、具体策は。

答 ワクチン接種は、8月25日時点で40%の方が2回目を終え、食料支援も開始した。

問 ミニドッグランの試行的な開始を仄聞したがどのようなものか。また市直営の釣堀を作るべきと思うかどうか。

答 ドッグランは常設に向け、検討中だが、小規模公園においての試行も検討している。釣堀については、地域の生態系を大切に池の管理を考えており、新たな活用方法については管理者とともに検討する。

問 東大農場通りの信号機設置と北原2丁目信号撤去について、地元住民が困っているがどうするのか。

答 都と警視庁の協議で決まったものだが、対応を検討したい。

意見 地元新入都議も頑張ってくれているが、早急な信号機設置と歩道の再考を望む。道路は誰のものか？私はそこに住む住民のものとして認識している。早急な対応を望む。



議長公務

市内小・中学校のGIGAスクールについて 視察を行いました

9月24日に本市のGIGAスクールについて、議長が視察を行いました。GIGAスクール構想とは、児童・生徒に1人1台端末と高速大容量ネットワークを整備したICT環境の充実により、これからの社会を生きる子どもたちに必要な資質・能力を育成する構想です。

今回は、中原小学校と田無第二中学校にうかがい、学校と家庭をつないだオンライン授業の様子や児童・生徒がタブレットパソコンを使用して授業を受ける姿を視察しました。



やる、やらないじゃない やっているのだから応援しようよ



無所属① 小峰 和美

問 新型コロナウイルスが世界中に蔓延している中、聖火はアスリートたちの躍動を照らすと同時に、日本の政治や社会の在り方、五輪の意義など様々な問題を浮かび上がらせた。五輪中止論に寄り添った考えで開催された大会、女子選手が大粒の涙をこぼしながら「逃げたかった」「五輪反対の声を受け止めた半年間、応援してくれる声も、そうじゃない人たちの声も無視はできない」と。

選手には責任がない。やる、やらないじゃない。今、パラリンピックをやっている。応援しようよ。

答 在宅で選手の応援が行えるよう、市HPで応援サイトを紹介している。

意見 東京2020大会のモットーは「感動で心は一つになる」という意味が込められている。リーダーたちに求められるのは、開催意義を力強

い言葉で発信し、分断した人々の気持ちを一つにする努力だ。

その他質問

- ◇新型コロナウイルスの感染抑制
- ◇ワクチン接種年齢枠を超えろ
- ◇ワクチン接種会場を増やせ
- ◇ブレイクスルー感染の対応
- ◇コロナ禍の2学期の在り方
- ◇コロナ禍での授業、口の動きを見る英語、合唱について



ミライトワとソメイティ

令和3年度各会計補正予算の概要

会計名	予算額	補正予算額	計
一般会計	726億6,370万1,000円	40億1,476万円	766億7,846万1,000円
特別会計			
国民健康保険特別会計	184億8,402万2,000円	2億7,558万円	187億5,960万2,000円
駐車場事業特別会計	1億1,301万2,000円	1,819万7,000円	1億3,120万9,000円
介護保険特別会計	172億2,644万3,000円	6億4,502万3,000円	178億7,146万6,000円
後期高齢者医療特別会計	48億5,445万4,000円	3,554万4,000円	48億8,999万8,000円
合計	1,133億4,163万2,000円	49億8,910万4,000円	1,183億3,073万6,000円

※一般会計予算額は補正予算(第1号・第2号)を含みます。
※補正予算額は第3号～第5号の合計額です。

◆一般会計(第4号)

令和3年度補正予算

●予算特別委員会

第3回定例会

【結果】賛成全員で可決

【主な質疑項目】
・新型コロナウイルスワクチン接種関連の歳出総額、国費の充当、国庫負担金、補助金充当事業

【結果】賛成全員で可決

◆一般会計(第5号)

【説明】歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ1億4,932万5,000円を追加し、総額をそれぞれ766億7,846万1,000円とする。

【説明】歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ8億3,365万5,000円を追加し、総額をそれぞれ734億9,406万6,000円とする。

【主な質疑項目】
・地方特例交付金減額・地方交付税増額の要因と新型コロナウイルス
・寄附金の使途と寄附者の意向
・新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業の申請期間延長に伴う予算額の変更、就業・生活保護につなげた実績・事業評価

◆一般会計(第3号)

令和3年度補正予算

●予算特別委員会

第3回臨時会

【説明】歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ30億3,507万9,000円を追加し、総額をそれぞれ765億2,913万6,000円とする。

【主な質疑項目】
・地方特例交付金減額・地方交付税増額の要因と新型コロナウイルス
・寄附金の使途と寄附者の意向
・新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業の申請期間延長に伴う予算額の変更、就業・生活保護につなげた実績・事業評価

予算・決算特別委員会の審査から

令和3年度補正予算と令和2年度決算の主な審査内容をお知らせします。
◇質問の詳細は会議録に掲載します。「会議録の公開予定」は8面をご覧ください。

【主な質疑項目】

・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の昨年度補正予算との性質の違い、予算編成の考え方、庁内検討経過、執行残額の取扱

・財政調整基金繰入金の考え方、事業への充当状況
・こもれびホール、コールド無のインターネット環境整備理由・内容、申込み方法、市民の要望、近隣自治体の整備状況、市民周知方法、活用見込み

【結果】賛成全員で可決
【国民健康保険特別会計 (第1号)】

【結果】賛成全員で可決
【介護保険特別会計 (第1号)】

【結果】賛成全員で可決
【後期高齢者医療特別会計 (第1号)】

決算特別委員会

令和2年度決算

◆一般会計

【説明】歳入決算額は1千23億7千515万7千903円、歳出決算額は997億3千894万8千822円である。

【主な質疑項目】

- ・市民税の滞納繰越分及び新型コロナウイルス、減収補てん債の影響
- ・森林環境譲与税の使途と可視化
- ・学校施設使用料の歳入の減額要因、算定方法
- ・ふるさと納税の増額要因
- ・生活つなぎ資金貸付金元金収入
- ・ホームページリニューアルと広報戦略
- ・コロナ禍における審議会の運営方法、謝金、デジタル化への取組

職員のハラスメント対応

・窓口対応、人員配置の年数、協力体制、職員提案制度、ストレスチェック

・公平委員会への措置要求及び不利益処分審査請求の件数、内容

・委託契約の手順、総合評価方式の試行後の検証

・男女平等推進事業の女性相談件数、コロナ禍における講座の検討

・住民票等自動交付機廃止後のマイナンバーカードの交付枚数、窓口業務

・民生委員のコロナ禍での活動と研修、情報共有

・生活困窮者に対する相談窓口の連携

・障害福祉計画の策定期間の変更と評価、重点推進項目策定における認識

・65歳以上の障害者の介護保険サービスへの移行計画の位置づけ

・高齢者緊急通報システム

・老人クラブ活動回数地域差、加入者数減少理由

福利厚生事業の民間委託

の検討

・プレミアム応援券事業のアンケート結果と評価

・新たなビジネスモデル・経営革新チャレンジ支援補助事業の評価、分析

・めぐみちゃんメニュー認定事業結果とその活用

・コミュニティバスの収支率、基準財政需要額、運行の考え方

・新入学児童交通安全教室の実施概要、感染症対策

・市道路線改良工事

・都市計画道路3・4・11号線の進捗状況、用地交渉、残地の有効活用方針

・住宅セーフティネット、空き家対策事業の相談件数、内容、対応状況

・防災行政無線の戸別受信機の設置状況

・避難行動要支援者個別計画の作成状況

通学区域見直しの考え方

・不登校対策、解決状況、進路の検討方法

・通学路の安全対策と総点検の方法、評価

・学校のトイレ環境改善及び消防設備保守の取組状況

・タブレット端末の活用状況、効果、今後の取組

・コロナ禍における新成人への取組、今後の予定

・公民館でのオンライン講座の導入と効果、評価

・図書館の利用者数、貸出冊数の推移、利用促進への取組、図書消毒器の利用及び効果、児童書の除籍の冊数と処分方法

【結果】賛成多数で認定

【結果】賛成多数で認定

【結果】賛成多数で認定

【結果】賛成多数で認定

令和2年度各会計決算の概要

Table with 5 columns: 会計名, 予算現額, 歳入決算額, 歳出決算額, 歳入歳出差引額. Rows include 一般会計, 国民健康保険特別会計, 駐車場事業特別会計, 介護保険特別会計, 後期高齢者医療特別会計, 合計.

Table with 5 columns: 下水道事業会計, 予算額, 決算額, 予算額に比べ決算額の増減, 不用額. Rows include 収益的収支, 資本的収支.

委員会の審査から

議案や皆さんから提出された請願・陳情は、原則として所管の常任委員会等で審査を行います。ここでは、今定例会における各委員会での主な審査内容についてお知らせします。

企画総務委員会

「工事請負契約の締結について(議案第56号)」

【説明】保谷庁舎解体工事請負契約に係る入札経過、工事概要等

【主な質疑】

問 アスベスト対策は。

答 各階の空気調圧室と研修室にて確認。業者決定後に調整し、適切に処理する。

【結果】賛成全員で同意

「工事請負契約の締結について(議案第57号)」

【説明】旧市民会館解体工事請負契約に係る入札経過、工事概要等

【主な質疑】

問 工事車両の通行について、渋滞回避、救急車の円滑な通行の確保など、搬入ルートでの明確化を求める。

答 業者決定後に再度調整。騒音対策は。

問 防音パネル、出入り口付近に騒音振動計を設置。

答 1回の記録提出にて管理。

【結果】賛成多数で同意

【工事請負契約の締結について(議案第58号)」

【説明】ひばりが丘中学校解体工事請負契約に係る入札経過、工事概要等

【主な質疑】

問 旧市民会館、保谷庁舎の解体工事に比べ、工期の設定が長い。要因は。

答 ひばりが丘中学校に至る動線が、都道112号線からの1か所に限られるという道路付け、地理的な問題、住宅街での工事のため。

【結果】賛成全員で同意

文教厚生委員会

「市立学校施設使用条例の一部を改正する条例」

【説明】市立ひばりが丘中学校の新社舎の使用開始に伴い、学校施設を社会教育その他公共のために使用する場合、現行のけやき小学校、青嵐中学校などの施設と同様に、新たに応分の負担をしていただくための使用料を徴収することができるようにした。

【主な質疑】

問 新しく整備された施設は有料、以前からご利用いただいているところは無料とのことだが、築何年ぐらになつたら無料なのか。

答 今後、有料前提に進めていくということになるのか。

答 今後整備したものは、使用料等審議会等に原価計算をかけた、有料化も含めて検討していく。使用料は3年に一度見直しをしており、その際の原価計算等を含めた適正価格を考慮し、引き続き考えていく。

改修等を行った場合、基本的には受益者負担の考え方で、使用料を納めていただくかどうかを基本として検討していく。

問 市内在住者に予約の優先性はあるのか。

答 小学校の場合、学校施設開放運営協議会に加入して活動されている方は、優先して予約ができるような仕組みがある。

【結果】賛成全員で可決

建設環境委員会

「地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例」

【説明】本年8月19日に都市計画変更した東大生態調和農学機構周辺地区 地区計画の区域のうち、新たに2地区の地区整備計画区域を追加し、既に定めている計画地区の一部を変更し、地区計画に基づく建築物の制限を建築確認手続の審査項目とするために定める。

【主な質疑】

問 建築可能な建物は何か。

答 基本は公共施設全般を誘導したいと考えている。学校や、病院、子育て施設、高齢者施設などが該当する。

【結果】賛成全員で可決

「気候変動対策に関する陳情」

【説明】現在、本市で調達している電力は太陽光や風力など温室効果ガスが発生しない再生可能エネルギー由来の電気が一部含まれており、今後、この比率を上げていくことを検討し、電力調達に係る環境配慮方針において、再生可能エネルギー導入状況を必須条件とする改定を予定している。

【主な質疑】

問 再生可能エネルギーを1%上げるためのコストは。

答 1%上げるのに単価で言えば1円に満たないが、全体の試算では10万円程度の増になると考える。

【結果】賛成全員で採択

○公民館の移管に関する陳情 (文教厚生)

取下げ

○核兵器禁止条約の署名、批准を日本政府に要請する意見書提出に関する陳情 (以上、文教厚生)

○気候変動対策に関する陳情 (建設環境)

採択

○原爆歴77年8、9月に開催されるパラリンピックを返上・即時中止する事に関する陳情

不採択

陳情の結果
()は付託委員会

第3回臨時会・第3回定例会 議案の議決結果一覧

○賛成 × 反対

件名	会派										結果
	自由民主党西東京市議団(10)※	西東京市議会公明党(5)	日本共産党西東京市議団(4)	立憲フォーラム(2)	生活者ネットワーク(2)	無所属①(1)	無所属②(1)	無所属③(1)	無所属④(1)	無所属⑤(1)	
第3回臨時会											
補正予算(3年度)	賛成全員										可決
改定	○ ○ × ○ ○ ○ × ○ ○ ○										可決
	・手数料条例の一部を改正する条例 ・特定個人情報保護条例の一部を改正する条例										
第3回定例会											
補正予算(3年度)	賛成全員										可決
	・一般会計(第4号)										
	・国民健康保険特別会計(第1号)										
	・駐車場事業特別会計(第1号)										
	・介護保険特別会計(第1号)										
決算(2年度)	○ ○ × ○ × × × ○ ×										認定
	・一般会計										
	・国民健康保険特別会計										
	・駐車場事業特別会計										
	・介護保険特別会計										
制条例	○ ○ × ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○										可決
	・下水道事業会計										
条例改正	賛成全員										可決
	・市長の給料月額の特例に関する条例										
	・職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例										
	・市税条例等の一部を改正する条例										
	・市民交流施設条例の一部を改正する条例										
	・市における地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例										
その他	賛成全員										同意
	・工事請負契約の締結について(議案第55号)(田無庁舎空調設備改修工事)										
	○ ○ ○ ○ ○ ○ × × ○										
	・工事請負契約の締結について(議案第56号)(保谷庁舎解体工事)										
	○ ○ × ○ ○ ○ × × ○										
出議員提案	× × ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○										可決
	・国民の命と暮らしを守る新型コロナウイルス感染症対策の実施を求める意見書										
	○ ○ ○ ○ ○ ○ × ○ ○ ○										
・新型コロナウイルスワクチンの適正な配分に関する意見書										可決	

※ 議長は採決に加われないため、採決時は9名

次回定例会のお知らせ

■第4回定例会は12月3日(金)から開催予定

詳細は、決まり次第ホームページに掲載しますので、ご確認ください。

■請願・陳情の提出期限

請願・陳情は随時受け付けていますが、第4回定例会中に審査を行うためには、11月26日(金)までに提出をお願いします。

※定例会開催予定日に変更がある場合は、ホームページ等でお知らせします。



会議の開催状況

(令和3年7月~9月)

7月	14日	議会運営委員会、広報委員会	7日	企画総務委員会、建設環境委員会
7月	19日	第3回臨時会、企画総務委員会、予算特別委員会、議会運営委員会	8日	企画総務委員会、決算特別委員会
8月	27日	広報委員会	9日	議会運営委員会、議員提出議案上程(議決)、議会運営委員会
8月	24日	議会運営委員会	14日	本会議(委員会審査報告、議員提出議案上程(議決)、議会運営委員会)
8月	27日	第3回定例会・本会議(議案等上程(付託)、予算特別委員会、広報委員会)	15日	決算特別委員会
9月	30日	本会議(一般質問)	16日	決算特別委員会
9月	31日	本会議(一般質問)	17日	決算特別委員会
10月	1日	本会議(一般質問)	21日	決算特別委員会
10月	2日	本会議(一般質問、議案上程(付託)、議会運営委員会)	22日	決算特別委員会
10月	27日	本会議(議案上程(付託)、議決、委員会審査報告(議決)、議会運営委員会、予算特別委員会)	27日	本会議(議案上程(付託)、議決、委員会審査報告(議決)、議会運営委員会、予算特別委員会)

■会議録の公開予定

会議名	冊子	ホームページ
・本会議	・情報公開コーナー ・議会図書室 ・市内図書館	11月中旬 11月下旬
・常任委員会 ・議会運営委員会	・情報公開コーナー ・議会図書室	12月中旬 12月下旬

編集後記

9月には、年に1度の決算特別委員会が開催されました。市民の皆さんから徴収した税金の使われ方をチェックするのだから、責任重大です。この事業の費用対効果は？市民ニーズと合致する事業だったのか？ムダな経費は使われていないか？等々、様々な角度から質疑が行われました。特に今年は、コロナ禍での市政運営を検証する大事な決算となりました。主な質疑項目は7面です。ぜひご参照ください。ぜひより良い議会運営のため、皆様からのご意見をお待ちしています。(K)